

平成 22 年 10 月 29 日

2010 年度第 1 回 住まいづくり支援建築会議 情報事業部会
サステナブル住宅分科会 議事概要 (案)

開催日時：平成 22 年 9 月 14 日 (火) 18 時～20 時

開催場所：学会会議室

出席者 (敬称略)：山本, 小檜山, 加藤, 楠山, 富田, 平田, 渡邊

1. 住まいづくり支援市民セミナー@富山 開催報告

- ・参加者は 88 名であった。そのうち約半分が一般の市民であった。
- ・今回富山支部は集客のためのプロモーションを行っていないが多くの参加があった。
- ・開催者の立場としては内容が充実していたと思うが、参加者からの意見では、「楽しく、やりがいのある住まいづくり」のタイトルと沿った内容とするとよかったのではとの指摘もあった。

2. 平成 23 年度の市民セミナーについて

- ・平成 23 年度の建築学会大会は 8 月 23 日 (火) から 25 日 (木) に開催される。
- ・市民行事を大会関連行事とするためには、週末 (27 日または 28 日) に開催することとなる。
- ・市民が興味をもって参加を促進させるためには、何らかの見学会と抱き合わせで企画すると良いかもしれない。
- ・市民のどのレベルにフォーカスを合わせるのかによって、企画が異なってくるのではない。

3. 分科会の活動方針について

- ・「サステナブル住宅」の意味は、時間軸を超え、いつまでも住まい手に魅力を提供できる住まいと考えたい。いつまでも魅力的な住まいにするために必要なものは何か? ということをこの分科会で検討していきたい。
- ・分科会での検討成果は、平成 23 年度の市民セミナーで活用することを目指す。ただし、戸建住宅分科会の活動成果を市民セミナーに用いることも考えられるため、本分科会での活動は柔軟に行う。
- ・住まいを建てたり、購入したり、住み続ける市民にとって有益な情報は多数提供されているが、どれも単独で情報を提供しており、有機的に繋がっていない。住まいの建築を検討する段階から、その住まいが解体撤去されるまでの間を捉え、情報提供がどのように行われているのか、一つのマップで表現することを目指してはどうか?

- ・今年度の市民セミナーにおいて住宅すごろくの話が出ていた。住まい手のライフスタイル、ライフコースも取り込んだ「現代版住宅すごろく」というものがあったとしても良いのではないか？
- ・次回までに山本主査が検討のたたき台になるものを作成し、それを基にディスカッションを行う。

4. その他

- ・住宅すごろくに関する研究を行っている方のリサーチを、各委員で行う。
- ・分科会の幹事は、加藤委員が努める。

次回開催：平成22年10月29日 18時から

場所：学会会議室